



子どもの姿		ねらい	行事	長時間保育	地域との関わり	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・かるた、すごろくなど様々な正月遊びの経験や、戸外での鬼ごっこなどを通して、友だちと一緒にルールを守って遊ぶ楽しさが分かるようになってきた。 ・友だちと共通のイメージをもって劇ごっこを楽しんで進めている。 ・大きく体調を崩す子はいなかったが、引き続き手洗い、うがい、水分補給をしっかりと行い、風邪を予防に取り組んでいる。 ・寒さに負けず、元気に戸外遊びを楽しんでいた。また、友だち同士で遊びに工夫する姿が見られた。 		<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで劇をつくりだす楽しさを味わったり、友だち同士の関りを深めたりしながら、楽しく取り組んでいこうとする。 ○健康や安全の習慣を身に付け、身の回りのことを丁寧にしようとする。 ○クラスの中で自分の存在を意識しながら、みんなと一緒に行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1日(金) 節分集会(交流保育) 1日(金) 恵方巻クッキング 8日/22日(金) 英語 14日(木) 避難訓練 16日(土) お楽しみ会 19日(火) 幼児集会/身体測定(お楽しみ会リハーサル) 	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の体調や様子に合わせて、ゆっくり休息出来る雰囲気やスペースを用意する。 ○安心してからお迎えを待てるように過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○散歩先等で積極的に挨拶をする習慣を身に付ける。 ○園内開放や交流保育で遊びきた友だちに優しくするなど関りをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会の劇や合唱を楽しむ姿が見られ、友だちと同じ目的に向かって作り上げる姿に、成長を感じられた。これからも、子どもたち同士で目標を見つけて活動ができるようなきっかけづくりをしていきたい。 また、節分集会などの異年齢との行事を通して年長児に憧れる姿が見られたので、年長になる期待が持てるように関わっていこうと思う。 ・体調を崩す子もなく、元気に過ごすことができたので、引き続き手洗いうがい水分補給をすすめていく。 ・子どもたちが自然に行動できるように、必要最小限な声掛けやきかけをつくるようにしていく。
内容		環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り	
<p>養護(生・情)</p> <p>教育(健・人・環・言・表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの健康状態を把握し、室温・湿度・換気に留意し、健康に過ごせるようにする。 ・手洗いうがいを丁寧に、冬の健康的な生活に必要な習慣を身に付けようとする。 ・おなかがい痛い、頭が痛いなどの体の不調を保育者に伝えようとする。 ・節分の行事に喜んで参加しようとする。 ・友だちとルールを考えたり、工夫して遊んだりすることを楽しむ。(ドッジボール、鬼ごっこ、ゲームあそびなど) ・年長児と一緒にあそぶことで、進級に期待をもつ。 ・冬の自然現象の変化に興味や関心を持ち、見たり触れたりして楽しむ。 ・ことばの面白さに気づき、興味を持ってあそんだり、発表したりする。(しりとり・かるた・言葉あつめ・伝言ゲームなど) ・人の話を最後まで聞き、理解して行動しようとする。 ・あそびや行事に必要な物や、イメージしたものを描いたり、製作したりすることを楽しむ。(ひな祭り)また、廃材を使って様々な物を作るのを楽しむ。 ・卒園する年長児へ贈るプレゼントをつくる。 ・劇遊びを通してイメージを膨らませ、言葉や動きで表現しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンやヒーターでの室温調節、加湿器での湿度調整や換気をこまめに行う。 ・空気が乾燥しているので、水分補給を促していく。 ・節分集会では、子どもの動きを予測して危険がないように、場にゆとりを持たせて設定する。 ・みんなで活動する機会や、子どもたちが繰り返し楽しんだりできるような場をつくる。 ・年長児とのかかわりを深められるように、一緒にあそんだり、活動したりする時間を設定する。 ・雪が降ったり氷がはったときには、機会を逃さずに直接触れてみたり、あそびに使ったりできるようにする。 ・かるたやことばあそびの本を見やすい所に置き、いつでもあそべるようにする。 ・必要なことを友だちや保育者に伝達する機会をつくる。 ・子どものイメージに合わせて、必要な材料や道具を用意する。(毛糸・ナイロンテープ・紙テープ・両面テープ、千代紙など)廃材を集める。 ・年長児に渡すプレゼントづくりに必要な素材や道具を準備する。 ・発表会に必要な背景や小物を用意し、期待を膨らませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室温や活動に合わせて衣類を調整し、汗の始末や水分補給を自分からするよう促していく。 ・うがいや手洗いの大切さを伝え、忘れずに行うよう見守り、声をかけるなど、予防する習慣を身につけられるようにする。 ・ルールを守ることで、より楽しくあそべることを知らせる。 ・子どもがルールを考えた時には取り入れ、その楽しさを共有できるようにする。 ・年長児のことばや行動に刺激をうけるように声をかける。(「年長さんかっこいいね。」「年長さんの〇〇すごかったね。」など) ・子どもの気づきを認め、生活の中で意欲がもてるように声をかける。 ・氷作り、雪あそびなど、自然に触れながら、子どもの気づきや発見、不思議に感じる姿に共感する。また、一緒に調べたり考えたりする。 ・保育士も一緒にあそびに入り、ルールを伝えながらあそびを進めることで面白さや楽しさを伝えられるようにする。 ・聞いたことを理解して行動できているか確認し、その子に応じた説明をしていく。 ・子どもの発想や工夫している姿を認め、意欲的に作ったり描いたりできるようにする。 ・友だちと協力する楽しさが味わえるように保育者が仲立ちしてすすめていく。 ・楽しみながら歌をうたえるように、どんな声で歌うのが心地よいかを伝えていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・体調が悪い時は、自分で保育者に伝えられるように、子どもたちに呼びかけたり、視診や触診をしたりしながら、子どもたちの体調の変化にいち早く気づけるように心がけた。 また、手洗いうがいが積極的に行えるように、上手にできている子を見本にし、子どもたちが積極的に取り組めるように工夫した。 引き続き、感染予防に力を入れていく。 ・節分では、由来を知り地域の友だちと楽しく参加することができた。 ・集団遊びでは、競い合うことで悔しい思いをし、泣きだす子もいたが、悔しい気持ちをバネにし努力すると姿も見られたので、保育者は見守ることに徹していく。 ・年長組と一緒に散歩へ行ったり、関わったりする中で、自分たちもこうなりたい！と期待する気持ちの子が増えたと思う。刺激を受けて年長になることを楽しみにしてもらえたらと思う。 ・雪は降ったが、積りもなく氷づくりもできなかったが、その中でも、雪の結晶に気付く子もいた。子どもの見る目や発見する力に、改めて気付かされた。 ・節分では、子どもたちが楽しく鬼のお面をつくる。遊びの中で製作することで、ゆっくりとハサミを使って取り組み、子どもたちの個性が出た作品になった。最近では、折り紙でいるいるものが折れるので、豆入れは画用紙を利用した。今後も、子どもの興味があるものを取り入れていきたい。 ・ひらがなに興味をもち、ひらがな一覧をみて書く楽しさを覚えている様子。紙と鉛筆を取り出しやすい場所へ置き、いつでもかけるようにした。 ・発表会は緊張しながらも楽しんで参加していた。子どもたちの頑張りを認め褒めていき次につなげていく。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・節分にちなみ、豆について知る。 ・節分の由来を知り、恵方巻をつくって食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豆まきでまいた豆の他に、どんな豆があるかを知ることができるように凶鑑などを用意する。 ・節分の行事に触れて、楽しく恵方巻が作れるように用具をそろえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豆腐や油揚げが大豆からつくられていることを知り、給食に興味をもてるようにしていく。 ・伝統的な行事を通して、大豆やイワシ、恵方巻など食材に興味を持てるように話したり、食べたりしながら経験をさせていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・節分や豆の由来では、興味をもって聞いていた。また、その後恵方巻をつくったが、好き嫌いをなく完食していた。 日本の伝統や文化に触れることを、これからも楽しんでもらいたい。 	